



もとみや

議会だより

第10号
平成21年 1月発行

きれいにできたね
(第一保育所だんごさし)

12月定例会

新年度予算編成に向け要望書を提出

条例改正・補正予算を審議

17議案を可決

2P~

常任委員会審査

4P~

ここが聞きたい)

11議員が一般質問

8P~

声

議会傍聴に行ってきました

16P

12月

定例会

12/3~12/12

補正予算 一般会計 1億4,119万7千円を追加

小学6年生まで

通院医療費が無料に！

主な議案

小学生の入院医療費助成の条例を一部改正

平成20年度一般会計補正予算(第6号)

12月定例会(第6回本宮市議会定例会)は、市長から条例改正や各種会計の補正予算など13議案が、提出されました。

また、最終日には市長から追加議案3件と、議会の意思と住民の声を政府へ伝える意見書1件及び閉会中継続調査申出書が提出され、全てを原案どおり可決しました。

子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもたちの健やかな成長を支援するため、平成19年10月から実施していた「小学生入院医療費助成事業」を拡充し、本年1月1日から小学6年生まで通院にかかる医療費の助成を行うものです。入院医療費が通院まで拡大されることにより条例の名称も「本宮市小学生医療費の助成に関する条例」に変更となりました。

一般会計の補正は、1億4,119万7千円を追加し、総額を120億4,422万9千円としました。

これは歳入では、地方交付税、基金等繰り入れによる増額などです。

歳出では白沢総合支所建設費用や小学生通院医療費助成費用の計上など市民生活や施設の維持管理のため、早期に実施すべき事業への予算計上を行いました。

歳出の主なものは下記のとおりです。

補正の主なもの

- 白沢総合支所建設事業に.....9,730万円
- 道路維持補修事業に(宮関5号線)(小田部・八幡線).....283万円
- 乳幼児医療費助成事業に.....872万円
- 小学生通院医療費助成事業に.....594万円
- 教育施設等のAED購入に(全小学校と体育施設に設置).....285万円

幼稚園条例の一部を改正

市立幼稚園の保育時間が統一されていないことから、すべての幼稚園の保育時間を統一するものです。

これにより、本年4月から五百川幼稚園の預かり保育時間を変更するとともに、五百川幼稚園と岩根幼稚園においても延長預かり保育が実施となります。



預かり保育時間が延長になる五百川幼稚園

国民健康保険条例の一部を改正

小学生に対する医療費の公費負担を拡大することに伴い

本条例の一部を改正しました。さらに最終日の追加議案として、全国で産科医不足が深刻な問題となる中、普通分娩でも起こりえる医療事故に備え、産科医の医療負担の軽減と産科医を確保する目的で、本年1月1日から産科医療補償制度が開始されることにより条例の一部を改正しました。

改正の内容は、産科医療補償保険に加入している医療機関での分娩に限り、現行の出産育児一時金35万円に、保険料相当分3万円を上限として加算し支給するものです。

総合計画基本構想を策定

新生「本宮市」の今後のまちづくりと、行財政運営の将来を展望し、市勢発展の方向性と実現に向けた基本方策を明らかにするため、本市の最上位計画として策定されました。

自主的財政健全化計画を変更

総合計画基本構想が策定されたことに伴い、阿武隈川本築堤事業の開始、学校施設等の耐震化事業の拡充など新たな財政需要に対応するため、昨年3月に策定した本計画の一部を改訂しました。

巡回バス条例を廃止

本年4月1日から新交通システムが運行されることから、市が運行していた本宮地区の巡回バスについては、新たな交通体系の中で運行することとなるため条例を廃止しました。

人事

○人権擁護委員の推薦

法務大臣委嘱の人権擁護委員として推薦することに同意しました。

鈴木哲彌氏

(白岩字寺内)

市長諸報告

金融機関訪問について

経済不況化による中小企業者への融資を円滑に進める必要があるため、12月11日に市内の金融機関6店舗を訪問し、資金調達の円滑化を図るよう、支店長に要請文を手渡ししました。

道路改良工事の入札について

ソニー・エナジーデバイス株式会社本宮事業所の工場増設関連工事となる市道中野1号線ほか2路線の道路改良工事の制限付一般競争入札を執行いたしました。

○落札者

株式会社武藤建設

(本宮字欠下)

○落札金額

5,691万円

環境表彰受賞について

本宮第二中学校の生徒会が、「うつくしま、ふくしま環境表彰」を受賞することとなりました。これまで同生徒会は、JR五百川駅が無人化された翌年の昭和60年から、駅ホームなどの清掃活動や、県道本宮・熱海線沿いの花壇の整備、学区内の公園の清掃活動を実施しており、快適な生活環境づくりへの貢献が認められたものです。



総務文教常任委員会

常任委員会 審査

総務文教常任委員会には、本宮市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定のほか3件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

幼稚園条例の一部改正

質疑

五百川幼稚園及び岩根幼稚園の預かり保育時間延長にかかる、臨時職員雇用に伴う園児の事故対応は。

回答

幼稚園の監督の下、預かり保育を実施することから、園の責任で対応する。

第1次総合計画基本構想の策定

質疑

総合計画の進行管理はどのように。

回答

総合計画の政策・施策の推進は、健全で安定した財政基盤の構築が必要不可欠であるという視点から、自主的財政健全化計画を総合計画における計画の前提と位置付けてお

り、このことから、議会に諮り事業を検証しながら進めていきたい。

一般会計補正予算

質疑

景気悪化により法人税を8千万円減額補正としたが、来年度の市民税の歳入見込みは。

回答

法人税は減額で見込んでいるが、個人市民税については、リストラ等による影響も予想されるため、今後の課題である。



現地調査（本宮第二児童館）

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市小学生の入院医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定のほか5件の議案と陳情1件が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

本宮市小学生の入院医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定

質疑

医療機関窓口での一部負担が生じない「現物給付」の対象範囲は。

回答

県内の医療機関で受診した場合は現物給付となる。なお、一部の国保組合加入者については、事後に医療費負担額の払戻しを受ける「償還払」が適用される。

一般会計補正予算

質疑

今年度の敬老会の実施結果を踏まえ、合同反省会で話し合われた内容は。

回答

今後も地元開催が望ましい

という意見や送迎バスの車両増加の要望等があった。これらの意見を参考に取り組んでいく。

陳情の審査結果

「社会保険二本松病院の公的医療機関として存続を求める陳情書」が付託されました。

二本松病院は、地域住民の医療・予防活動に貢献しており、必要性が認められることから、今後も国及び国の関係機関による公的医療機関として、存続を求める意見書を国に提出すべきと本陳情を採択しました。



現地調査（社会福祉協議会）

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、巡回バス条例を廃止する条例制定のほか1件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

巡回バス条例を廃止する条例制定

質疑

巡回バス廃止に伴う新交通システムの運行形態は。

回答

市街地巡回バスとデマンドタクシーの運行は、商工会に委託し、補助金を交付する。質疑

平成21年4月から新交通システムの巡回バスの運行予定だが、運行経路の見直しは。

回答

巡回バスの運行経路については、事業実施後、利用実態や利用者の声を考慮し、変更の必要があれば検討する。

一般会計補正予算

質疑

グリーン・ツーリズム地域推進事業の会場借上料補正の使途は。

回答

板橋区におけるアンテナショップの会場借上料として支払いをしている。アンテナショップは空き店舗を活用し8つの自治体が直営ブースを出店しており、本市では農産物販売を行っている。株式会社福祉舞里を通して取り引きを行い、市内の農家の収入確保に寄与している。



現地調査（本宮字南ノ内地内）

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、平成20年度本宮市水道事業会計補正予算（第4号）ほか2件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

水道事業会計補正予算

質疑

本市水道事業で国庫補助の対象となる事業は。

回答

合併特例により、白沢地区での事業等は補助対象と成り得る。

質疑

施設更新の考え方は。

回答

耐用年数を考慮し、ある年度が突出することがないように、計画的に進めている。

一般会計補正予算

質疑

今年度に市道九縄・土樋線歩道新設工事を計画しているが、同様に昨年度整備した南町裡10号線（駅前通りとサンライズもとみや間）の利用者の反応は。

回答

車の利用者からは狭くなつて通行しにくくなったとの意見もあったが、地域の方や歩行者からは、歩行者の安全確保が図られたことについて良い評価がよせられた。

公共下水道事業特別会計補正予算

質疑

下水道受益者負担金補正増の詳細は。

回答

原則は5年間の分割納付であるが一括納付も可能であり、16名からの一括納付申し出による補正増である。



現地調査（市道堀切・赤坂線）

視察調査報告

議会運営委員会

研修項目
山形県酒田市における
議会運営について

期日 11月4日～5日

場所 山形県酒田市

研修結果

酒田市は人口11万5千人、面積603平方キロメートル、平成17年11月1日に1市3町が合併し誕生しました。

酒田港や庄内空港を有し東北横断自動車道の全線開通により高速交通体系の整備が着々と進んでおり、初の公益学を領域とした大学を公設民営型で開校し、市民参加による大学まちづくりが進められている反面、人口の減少が著しい市でもあります。

議員は34名（うち旧3町から10名）で、次期選挙より定数を30名に削減します。

議会は5つの会派等で構成されており、政務調査費は、1人当たり月額2万5千円、年額30万円を交付しています。

総務、民生、建設及び経済の4常任委員会と5つの特別委員会が設置されており、地

域での諸問題に対処するため
の議論が交わされています。
また、市民の負託に応える
議会のあるべき姿をルール化
するための条例制定を目指し、
酒田市議会基本条例起草委員
会を設置して検討を進めてい
ます。

定例会の一般質問は、市長
提出議案の採決後に行われて
いるのが大きな特徴です。ま
た、本庁舎と総合支所ロビー
で会議のテレビ中継を行って
おり、議会情報の提供を積極
的に進め、議会運営の活性化
を図る取り組みは大変参考に
なるものでした。



酒田市役所にて

議会広報特別委員会

研修項目
岩手県八幡平市におけ
る議会広報編集の取組み
について

期日 11月17日～18日

場所 岩手県八幡平市

研修結果

八幡平市は岩手県の北西部
に位置し、平成17年9月1日
に、西根町・松尾村・安代町
の3町村が新設合併し誕生し
た、人口約3万1千人、面積
約862平方キロメートルで
岩手山・八幡平国立公園・安
比高原などリゾート地として
環境資源にも恵まれた市です。
議会広報紙は、「はちまんだ
い議会だより」と称し、平成
17年12月に創刊、現在までに
13号を数えています。

議会だよりは、定例会ごと
に年4回発行され、規格はA
4判で表紙と裏表紙がカラー、
本文は2色刷り印刷となっ
ており、季節感を出すため、2
色刷りのカラーを草木の芽吹
く春はグリーン、夏は爽やか
なブルー基調など季節ごとに
イメージカラーを変更してい
ます。

表紙の写真は、4世代また

は大家族がテーマとなっ
ており、掲載された家族から
は記念になったと大好評であ
ることでした。

裏表紙については、合併後
それぞれの地区の名所旧跡を
紹介するため、名所探訪の連
載と編集委員のあとがきの掲
載となっております。あとがき
については、担当した委員の
顔写真と氏名を掲載していま
した。

読まなければならない広報発行の
意味がないとの考えのもと記
事写真を大きく使い、広報誌
の重要さを深く認識しながら
取り組まれている、八幡平市
議会の姿勢は大いに参考にな
るものでした。



八幡平市役所にて

新年度予算に要望書を提出

本市では、自主的財政健全化計画を策定し、より効率的・効果的な財政運営を図っていますが、景気後退による影響や新たな重点事業の計画により、厳しい財政状況が続くことから、新年度予算編成にあたり、12月3日に議会として予算編成に対する要望書を市長に提出しました。主な要望内容は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

法人税の大幅な落ち込みが予想される中、自主的財政健全化計画を伴った適切な財政運営を図ること。

公共施設の修繕計画をもとに、計画的な修繕を図ること。

市の最上位計画として将来像の実現のため、総合計画を着実に推進すること。

教育環境（学校・保育所・幼稚園）の整備促進を図ること。

○生活福祉常任委員会

国民健康保険税の統合を図ること。

ごみの減量化・資源化に対する取り組みを強化すること。

子育て支援のため、次世代育成支援行動計画の策定を行うこと。

保健福祉複合施設建設について計画的に作業を進めること。

○産業商工常任委員会

商工業振興のため、商工会、シルバー人材センターへの支援と、TMOへの人的支援を図ること。

新交通体系へのスムーズな移行と更なる利便性の向上を図ること。

福舞里プランの実施計画に沿って事業を実施し、農業基盤確立と遊休農地・耕作放棄地の解消に努めること。

○建設水道常任委員会

名郷橋・菅田橋架け替え事業と大山・松沢線の整備推進を図ること。

阿武隈川本築堤事業促進のため積極的な支援と国・県に対し要望活動を行うこと。

浄水場の早期改修と早期に白沢地区への給水を実施すること。

阿武隈川築堤事業に伴う雨水排水整備計画の促進を図ること。



平成20年 第6回 本宮市議会定例会提出陳情文書表

受理番号	受理年月日	託付委員会	件名及び要旨	提出者	審議結果
陳情第10号	11月25日	生活福祉	社会保険二本松病院の公的医療機関として存続を求める陳情書	会 社 伊藤 守 松 二 本 代 表 委 員 会	採 択

臨時会

10月22日

市複合施設建設（建築主体） 工事請負契約

本宮市複合施設の建築主体工事の請負契約について議決しました。

○契約者 佐藤工業株式会社（福島市）

○契約金額 3億8,377万5千円

平成20年度本宮市 一般会計補正予算（第4号）

補正の主な内容は、ソニー・エナジーデバイス株式会社本宮事業所の工場増設に伴い、隣接道路や臨時駐車場等に関係する経費について補正しました。

11月21日

市職員の給与に関する条例の 一部を改正

福島県人事委員会勧告に基づき、一般行政職および医療職の給料表に定める給料月額から、平均で0.18%引き上げ、一般職の12月の期末手当の支給割合を0.02月引き下げるよう条例の一部を改正しました。この改正に伴い、一般会計や各特別会計の職員人件費など、必要な経費について補正しました。

市政を問う

11 議員が登壇



上高木地区の今後の整備は

問 駅前周辺駐車場はモットコムもとみやが指定管理者となっているが、運営はシルバー人材センターへ丸投げ状態で、利益は補助金的な意味があり利益供与ではないのか。平成16年以降、経費を差し引き5百万円から7百万円の利益があり、市全体で使用すべきと思うが。



Q

駅前周辺駐車場の指定管理者の見直しは

A 現時点で見直す考えはない

栄 藤次 議員

答 企業努力の中で収益を上げており、収益はまちづくり事業のさまざまな分野に使われている。指定管理については、現時点では見直す考えはない。FM放送を流すなど市全体に貢献している。

【旧白沢地区・大字地区の地域発展の施策は】

問 ①合併してよかったとお互い感謝し合える心ある行政を市民は願っている。旧白沢地区、旧大字地区の発展の施策は。
②上高木地区の区画整理事業を中止としたが、20年以上手付かず状態であるこの地区に対し今後の整備はどのように。

【市全体を考え地域振興を図る】

答 ①旧白沢地区、旧大字地区の発展は非常に重要な課題であると受け止めている。市全体のバランスを考え地域振興を図っていく。
②どういった道路の整備がいいのか計画をつくり、地区の方々と意見交換をしていきたい。



安定的な水源の確保を



Q 水道水源の確保は大丈夫か
A 水量は十分間に合う

渡辺 秀雄
議員

問 本宮地区と白沢地区を接続し、給水する計画と聞くが、安積疏水から取水している箇所もある。かんがい用水に支障を来さないのか。

答 安積疏水は必要とするかんがい用水に、本宮市が水利権を持つ7,200トンを加えて水を流しており水量については、十分間に合うはずである。上下水道課では、下流域の水量不足を考慮し、取水を深夜に行い、五百川からの取水で調整するなど努力をしている。上流域、熱海地区の受益者の協力も必要である。

問 市内全域で通学通園バス運行を】
新たな交通システム構築に向け、通学通園バスの運行についても検討されているが、白沢地区の運行を見直すのではなく、本宮地区でも通学通園バスを運行すべきではないか。

答 時間をかけ検討する】
合併前に実施していた白沢地区のイクタンバスについては継続して運行するが、近距離でも乗車できるなど課題はある。本宮地区への運行については、保護者、学校関係者の方々と時間をかけ検討したい。



Q 地場産業へ金融支援を
A 市内の金融機関に支援要請する

長谷川 円
議員

問 ①市民が毎日食べる食の安全（農薬、産地偽装等や食中毒）に対しての市の取組みは。②世界的な経済不況の影響を受けながらも頑張っている地場産業に対し、経営支援策の強化を。

答 ①JAに出荷される野菜は定期的に残留農薬を検査し、費用の一部を補助している。水稲等は栽培管理記録を義務付け適正な農薬の使用に当たっている。食中毒の衛生管理は保健所の指導、監督が重要である。②経営合理化資金の保証料の助成などを継続して行い、市内の金融機関へ支援要請する。

問 【今年度の税収等の見込みは】
①一般会計補正予算で法人市民税が8千万円の減額が見込まれているが、使用料などを含めた今年度の市税収入の見込みは。
②今後の見込みによって今年度の事業計画や市民サービスに影響が出ないのか。

答 【前年度並みと考える】
①市税、使用料等は、収納率に大きな変動がなければ前年度並みの収納が確保できると考えている。
②経費の見直しなどを行い、当初予定した市民サービスを下下させないよう行政運営を進めていく。



地元の食材を使い行われた自給自足パーティー



子育て支援の充実を

問 ①若い世帯の非正規労働の割合や200万円以下の所得の割合が増えていると政府が発表しているが、市の実態認識は。②「子育て支援」は、本市に定着してもらったための経済的応援政策であり、重要性を問う。



答 ①若い方、特に母子世帯、ひとり親の方々と接すると、不安定な職場に勤務する方が多い印象がある。②若者の定住の重要性は認識している。出産前後、乳幼児期、就学時期の経済的負担の軽減と子育て支援の一環として小学生まで医療費助成の拡充を図りたい。

問 「市女性職員が起案・提案できる組織か」
答 「世界男女格差報告」では日本は先進国の最低と報道されている。子育て支援政策には女性職員の政策立案が最も重要と考えるが、それらの組織体制になっていない。女性職員の管理職登用率と政策起案できる組織体制を確立すべきではないか。

問 今後の検討課題として
答 市役所の女性管理職は少ないが、組織が機能していないとは思っていない。女性が職務上持っている権限の中で意見が反映し、政策の中に生かされるのが望ましいと考える。そのような組織体制になっていないとすれば今後の検討課題としたい。

Q

生活実態にそった子育て支援を
A 子育てしやすい環境づくりに努める

島田和夫 議員



Q

景気悪化・税収・雇用対策をいかに
A 厳しい環境に全力で取組む

七太 根本 議員

問 ①米国発金融不安で国内景気がかつてない悪い状況と捉えるが、市として市内企業の生産状況と環境悪化に伴う税収及び雇用対策をどのように考えているか。②来春卒生徒の内定取消しなど危惧されるが、市の状況は。

答 ①10月実施の市内の就労事情事業所調査では、経営状態が悪いと答えた企業が70%を占め、大変厳しい状況で、法人税は8千万円減額補正をお願いした。ハローワークと連携し就職の斡旋や雇用の維持を企業にお願いする。②現時点で、ハローワーク二本松管内での内定取消しはない。

問 近年地方にも大型店が進出、道路網の整備も手伝って客の流れが変わり、経営に苦しまれている個人事業者が増加している。これまでの農家嫁不足と同じく、当事者の問題と片付けられやすいが、市内の実態と行政としての取組みはいかに。

答 厳しい状況にあると認識しているが、事業廃止の実態数値は把握していない。商工会が個人事業主の相談に乗っており、意見を頂いたことは商工会へ申し伝え要請する。



雇用対策を早急に

問 ①市の都市計画は、合併後5年を目途に見直すというが、その際、エイトタウン向かいの農地を商業地域としては、②上高木地区の区画整理事業が中止となった。二十数年に渡り地区の発展の阻害要因となっていたが、今後の対策は。



Q 新市の都市計画を問う
A 継承しつつ見直しを進める

川名正勝 議員

答 ①市民総意の都市計画を目指している。民間開発をするためには、計画の見直しが必要で検討に入っている。
②たいへん重要な課題であり、交通の要所となる県道整備の協議をしている。

【モンスターペアレントの対応は】
問 ①モンスターペアレントとは、学校に対し理不尽な要求を繰り返す保護者を意味するが、本市での事例と発生時のマニュアルは。
②市長や市の窓口、その他の部署でも理不尽な要求を突きつけて来る市民は現在、過去に事例はあるのか、そしてその対策は。

【信頼関係を構築する】
答 ①理不尽な要求と受け止められる例は何件かある。学校の方針等を的確に伝え、理解を得ながら信頼関係を構築したい。窓口を一本化し、複数の職員で対応している。
②常識の範囲を逸脱する行為はない。要綱に基づき適切に対処する。



市の玄関口としてインター周辺の整備を



自給自足パーティー会場での特産品即売会

問 ①耕作放棄地の解消をどう進めるのか。
②農地の利活用を最大限に生かせる特産物として、何をメインに育てていく考えか。
③集落営農の組織づくりに取組む団体に対する支援の方法は。

答 ①優良農地内にある耕作放棄地については、認定農家が円滑に、農地の集積が図られるようJ Aみちのく安達と連携し支援をしていく。
②長芋、イチジク等を中心に販路を拡大していく。
③組織化を目指した各地域に入り、関係機関と連携し支援していく。



Q 耕作放棄地の解消は
A 円滑な農地集積を支援する

渡辺善元 議員

【防犯灯の設置基準は】
問 ①防犯灯の設置基準は何か。
②現状の予算では年に何基の設置ができるのか。

【通学路を優先に対応している】
答 ①通学路、行政区同士の境、人家のない場所を基準としているが、子どもの安全・安心という考えから、通学路を優先的に対応している。
②20年度は252万円の予算措置があり、約50基の設置を予定している。



左岸築堤事業が始動

問 ①経営合理化資金など有効活用には融資条件の緩和が必要であり、利率の引き下げや保証料の減額など利子補助の値上げを検討すべきと思うが、②基金や予備費を原資とした、独自の保証・貸付制度の導入を。



Q 市独自の保証・貸付制度の導入を
A 制度を考えるのは困難

山本 勤 議員

答 ①保証料など予算確保に努力する。厳しい経済環境であり、市内の金融機関を訪問し円滑な融資をお願いする。
②基金は条例で目的を持って設置され、予備費は、緊急時限定で使用するものであり、原資として制度を考えるのは困難な状況である。

問 左岸築堤事業は地元優先に、左岸築堤事業において、農産物の地産地消だけでなく住宅新築に関しても、地元優先の立場を貫くべきと考える。対象となる建築主の皆様は協力要請が必要と思うが、地元業者の活用の見解は。

答 住宅等の建て替えや移転が発生するため、生活再建への配慮が必要となってくる。住宅再建への相談に対応できる環境づくりと、市内企業の振興や地域経済の活性化のため地元企業の活用を市としてもお願いしていく。

問 ①読書活動推進計画の取り組み状況は。
②中央公民館図書室を夢図書館分館扱いにし、利便性を図っては。
③学校図書館と図書館をネットワークで結び図書司書を配置しては。
④交付税措置された図書費の流用が問題となっているが本市では。

答 ①平成20年3月に策定し12項目の実施に取組んでいる。②社会教育法に基づく図書室ではコピーもできず、夢図書館の貸し出し冊数に反映されない課題がある。③図書館司書のバックアップをしながら情報交換し、子どもたちの読書環境をつくる。④交付税算定額の全てが入っているとは思わない。

問 ①円滑な地上デジタル放送への移行推進は。
②高齢者や障がい者などへのきめ細やかな受信説明会は。
③受信障害を及ぼす恐れのある世帯の把握は。
④悪質商法への対策は。

答 ①2011年から変わるというPRをしていく。②情報を周知しながら対応していく。③年内中に各放送局が実態調査を実施し、難視聴者への支援対策を講じる。④注意を促すよう広報誌や防災無線で周知を図っていききたい。



Q 読書活動を問う
A 読書活動推進計画に基づき実施している

川名 順子 議員



ジュニアおなはし会（夢図書館）

問 ①本市は、過去に何度も水害や土砂災害に見舞われ決して安全な環境ではない。新市のハザードマップに地理情報システム(GIS)の導入は、
②消防団の人員確保と、団員以外が手伝いをして災害に遭った場合の補償は。
③老朽化した消防屯所の整備計画は。

答 ①ハザードマップは早期に整備を検討する。GISは費用や効果を調査する。
②定員541名で現在539名が活動している。市が要請した場合は補償に該当する。
③財政健全化計画の中で、本宮第2、第3分団と岩根の羽瀬石屯所を予定している。

問 〔安達太良川の環境美化の取り組みは〕
①「水と緑と心が結びあう未来に輝くまちづくり」と本市のテーマにうたわれているように、市の中心の河川である安達太良川の環境美化の取り組みは。
②以前に整備を行った水際を親水公園として活用を。

答 〔県から委託を受け行っている〕
①県管理河川であり河川の維持管理は市が県から委託を受けている。堤防の除草は、町内会や有志の方々、7団体が美化活動に協力している。
②公園にするには、環境美化と維持管理が必要であり、県に強く要望したい。



Q 市民の安全を守る防災体制は
A 分かりやすいハザードマップを検討する

三瓶 裕司 議員



封鎖された平成大橋パーキング

問 糠沢農免農道は、平成13年に開通し、東北道本宮インターに直結していることから、地域の産業、経済に大きな効果も増加しており、最近交通量も増加している。平成大橋付近は景観も良いことからパーキングの封鎖解除ができないか。

答 ドライバーのごみの不法投棄や深夜の駐車など、環境あるいは防犯上のモラルの問題を含めて対策が行われない限り難しい現状である。現段階でパーキングの封鎖解除ができる状況に至っていないと判断をしている。

問 〔降雪時、凍結時の対応は〕
①昨年、地域間での降雪量の差があり、迅速な対応が必要と考えるが積雪量の把握と連絡体制は。
②常時凍結している箇所
の安全対策は。

答 〔職員のパトロールを実施し除雪の判断をする〕
①各地域の観測協力者による積雪量の確認や職員のパトロールを行い除雪の判断をする。災害の恐れがある場合には、積雪量に関係なく対応したい。②各地区の交通安全協会の方々にお願いしている凍結抑制剤散布や、市所有の道路補修機械で圧雪を取り除き安全対策を図りたい。



Q 平成大橋。パーキングの封鎖解除を
A 不法投棄や防犯上難しい

国分 民雄 議員



消防団員の確保を(出初めパレード)

意見書提出

議員発議として、次の意見書1件を可決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に提出しました。

社会保険二本松病院の公的施設として存続を求める意見書

社会保険二本松病院は、本宮市および周辺地域の医療の中核施設であり、地域医療に大きく貢献し、必要不可欠な存在となっております。特に、二本松市では唯一の「出産できる病院」であり、また、「人工透析治療」を行う病院で、一般医療機関では困難な医療の役割を果たしています。

厚生労働大臣は、社会保険庁の分割・解体にあたり、政令ですべての社会保険病院、介護老人施設等を独立行政法人「年金・健康保険福祉施設整理機構（RFO）」に出資（移管）しました。

しかし、RFOはその目的・業務を「施設の売却・廃

止」としており、RFO自体があと2年足らずで解散します。このままでは二本松病院は不安定な状態に置かれたままであり、地域医療の充実こそ本宮市および周辺住民の切なる願いであります。

よって、国においては、社会保険二本松病院が地域医療にとって不可欠な役割を引き続き果たしていけるように、国または国の関係機関による公的な医療機関・施設として存続させることを強く要望いたします。



報告

阿武隈川本築堤 対策特別委員会

阿武隈川本築堤事業の 見直し

築堤の詳細設計案がまとまったAゾーン（百目川から昭代橋）とC-2ゾーン（防災センター付近から鳴瀬地区）で、地域の方々を対象とした意見を聞く会を開催しました。

福島河川国道事務所が設計案の内容や完成後の利用と維持管理のあり方等の説明を行い、出席者からの要望や意見をお聞きしたところ、両ゾーンとも、早期築堤を求める意見が出されました。設計の基本条件のひとつとして、阿武隈川に流れ込む多数の水路を統廃合して新設する樋管から排水する計画であることから、Aゾーンでは東町裏地内に新設する樋管に内水排除のための排水ポンプ設置を求める意見がありました。

質疑

地元から強い要望のある、東町裏地内新設樋管への排水ポンプ設置は。

回答

現計画（1案）と東町裏地内新設設置（2案）について、検討を行っているが、1案では、上流から排水することになり地元の要望に答えられない。2案では、事業計画変更の可否と館町排水ポンプ場建設補助金の返還が生じることも考えられる等、両案ともそれぞれ課題がある。

現在は、費用比較を含めた検討と、県との協議を行っている状況である。

Aゾーンの雨水排水計画

事業認可を受けた現在の計画は、Aゾーン付近の雨水については新たに雨水幹線を敷設し、上流部の館町排水ポンプ場に導き、安達太良川に排水するものです。なお、同ポンプ場もそれを前提に建設されており、現在2基のポンプを更に2基増設することで、Aゾーン付近の雨水処理が可能となります。



現地調査（館町排水ポンプ場）

岩根小学校6年生が議会を傍聴しました

岩根小学校6年生の児童の皆さん30名が、12月8日に社会科学習の一環として、議会を傍聴されました。その中のお二人から傍聴感想をいただきました。

津守大智^{だいち}さん

12月8日、ぼく達6年生は本宮市役所で市議会を見学してきました。

ぼく達は、議会の様子をぼくちよう席で見ました。

議会が始まると、しんとしていました。ぼく達が見学

した議会は、「都市計画について」と「モンスターペア

レントについて」と「救急医りよう情報システムにつ

いて」と「民生児童委員会の助成について」の4つの

事について話し合っていました。話し合いの進め方や

役割は国会と似ているなあと

思いました。質問する人や

答える人はあらかじめ決めて

おいて、話し合いをすんなり進められるようにして

てありました。それに、質問する人の質問時間が30分と決めてありました。議員さんは時間を有効に使ってギリギリまで話していま

た。

もし、市議会がなかったら、市民のために役立つものや問題が解決されないでしょう。市民にとって市議会は大切なものなのだと思います。ぼくは市民のことをよく考え、市議会ですし合いをしてくれる市長さんや議会のみなさんにすごく感謝しています。これからも市民のためによりよい本宮市を築いていくってくださるようお願いします。

安部萌香^{もえか}さん

12月8日に、私達は市議会を見学しました。市議会ではどのようなことが行われているか調べに行きました。

市議会では市民のみなさんが豊かで明るい生活を送っていきけるよう、またうるおいと活力に満ちた市にしていくために、様々な仕事をやっていくそうです。暮らしまちづくりに関する様々な仕事を、市民の私達に代わって決定し実行す

るのが市議会と市長さんで、みんなの直接選挙で議員さんが選ばれることが分かりました。

議場の様子は、静かできん張した空気です、真げんに話し合いが行われていました。話し合いはスムーズに進んでいたので、すごいなあと思いました。話し合いが始まる前と終わった後にブザーが鳴ったのでびっくりしました。市議会では、市のためのことを話し合っていました。

私たちが見学したときは、「都市計画について」、「モンスターペアレントについて」、「救急医りよう情報システムについて」、「民生児童委員会の助成について」の4つを話し合っていました。私は、市議会では、どのようなことを行っているのか、よく分かりました。

最後に市長さん、副市長さんや、議員のみなさん、市議会を見学させて頂きありがとうございました。これからも、市のため、市民のためにお仕事がんばってください。

合併新法第1号と なった本市の町村 合併を視察

北海道南空知町村議会
議長会連絡協議会

10月20日に北海道の南空知地区5町でつくる南空知町村議会議長会連絡協議会が、合併新法第1号となった本市の町村合併について視察するため来庁されました。

南空知5町においては、現在3町が合併検討協議会を立ち上げ検討中であり、合併新法期限内での合併を目指しているとのことでした。本市の合併概要の説明を受け、協議会員からは、合併に至った経過や合併に対する住民への説明方法など活発な意見交換が行われました。



岩根小学校6年生のみなさん



12月定例会を傍聴された方は55人でした。
今回は、その中から根本征四郎さん（高木
字滝ノ入）に傍聴の感想をお聞きしました



根本征四郎さん

議場内に通ずる傍聴席の入り口の扉を開けて中に入ると、緊張あふれる空気が伝わってきて、私も初の傍聴経験なのでどのような体験ができるのか緊張いたしました。

当日の一般質問の内容は、市政における基本的な項目が多く、議員の真剣な質問とそれに対する確かな答弁を聞き、市政の基本的なありさまが多少なりとも理解できたと思えました。

質問、答弁とも、もう少し表面的なことではなく、時間的制約があり難しいと思いますが、内容的に中味の濃い具体的な議論を呈して欲しいと願うものです。

今回、一般質問を傍聴し貴重な体験をさせていただき、大変勉強になりました。



あとがき

12月市議会において、小学生に対する入院医療費の助成に加え、通院についても医療費助成が対象となるようになりました。

地域全体で子育て支援ができるよう、子育てしやすい環境づくりをこれからも考え、実現に向けて、より一層の努力をしていきたいと思えます。

議会としても今後とも市民本位の様々な議論を展開していかねばならないと強く感じているところです。

寒さが厳しくなりますが、健康に留意し希望がもてる一年にするため頑張りたいと思います。
(藤)

議会を傍聴してみませんか。

**3月定例会は3月上旬
開会予定です**

議会事務局
TEL 33-1111
(内線301)

